

別表 1

公益財団法人中央果実協会事業における公募対象事業一覧(2年度)

公募対象事業	事業の内容	応募者の要件、対象者	予定事業費・補助率
1 果実加工需要対応産地強化事業 (加工専用果実生産支援事業)	国産果実を原料とした加工品について、新たな加工・業務用需要への対応を図るため、消費者等のニーズをとらえた果実加工品の試作、当該加工品の原料価格を想定した低コスト・省力化栽培技術の実証等を行う。	生産出荷団体、都道府県、独立行政法人、食品製造業者等	1事業実施者あたり補助額2,000千円を上限 定額補助 (3団体程度)
2 加工原料安定供給連携体制構築事業 (1)国産果実需要適応型取引手法実証の取組	果実の生産・流通実態を踏まえ、生産者と取引先との間で生産者が再生産価格を確保しうる合理的な価格形成を促進するため、国産果実の需要に適応した契約取引等による計画的な取引手法の実証等を行う。	①生産出荷団体、②生産出荷団体と契約取引等による計画的な取引を行なう卸売業者、果実加工業者、外食・中食業者等	1事業実施者あたり補助額8,000千円を上限 定額補助
(2)省力型栽培技術体系等の導入の取組	実需者が求める品質・価格の果実を産地にもメリットがある労力・経費で安定的に供給するため、既存の知見や技術等を活用した病虫害対策、土壌改良等の作柄安定技術、省力化技術体系等の導入の実証を行う。	①生産出荷団体、②生産出荷団体と契約取引等による計画的な取引を行なう卸売業者、果実加工業者、外食・中食業者等	1事業実施者あたり補助額 事業の実施に必要な額 定額補助
3 果実輸送技術実証支援事業 (1)果実輸出効率化支援事業	国産果実を船便等により低コストで安定的に海外の消費者に供給するために、リーファーコンテナ等の効率的な活用や輸出に取り組む産地の連携による混載輸送等の効率的な物流体制の構築にかかる検討及び実証の取組を支援する。	①生産出荷団体、②生産出荷団体と連携して取り組む輸出事業者、資機材製造業者等及び③生産者、生産出荷団体、物流事業者、資機材製造業者等で構成する協議会	1事業実施者あたり補助額概ね5,000千円を上限 補助率1/2以内 (3団体程度)
(2)果実輸出鮮度保持技術導入支援事業	国産果実を船便等により低コストで品質を維持しながら海外の消費者に供給するために、長時間輸送を可能とする鮮度保持技術や損傷防止資材等の開発に係る検討、検討結果を踏まえた技術等の開発・応用による試作等、開発・応用された鮮度保持・品質劣化防止技術の実証の取組を支援する。		
4 国内果樹農業情報収集提供事業 (1)果実の出荷規格に関する調査	労働力不足の解消に向けた検討に資するため、出荷規格の一本化・簡素化、省力栽培による生産物の別規格でのブランド化等、産地における出荷規格の現状及び最近の動向について事例的に把握する調査を行い、取りまとめる。	本調査を実施するための豊富な知見と情報力、データ分析・解析能力を有する団体	3,800千円を上限として委託 (1団体)
(2)果物の消費に関する調査	果樹産地の構造改革を進めていくためには、国産果実の消費拡大の方向性を見極め、諸費者ニーズの変化等に的確に対応した商品提供や販売方法等の工夫が必要である。このため、全国の消費者を対象に、果物に関する消費動向、嗜好性、消費形態、購買行動等について調査を行い、地域の果樹関係者に提供する。	本調査を実施するための豊富な知見と情報力、データ分析・解析能力を有する団体	2,850千円を上限として委託 (1団体)
(3)醸造用ぶどう苗木に関する動向調査	醸造用ぶどうの需要が増加している中、需要に即した高品質な苗木の生産・供給体制の構築に向けた検討に資するため、国内における醸造用ぶどう苗木の生産実態調査、ワイナリーや醸造用ぶどう生産者等における需要調査及び海外における高品質な醸造用ぶどう苗木の供給体制構築についての事例調査等を行い、取りまとめる。	本調査を実施するための豊富な知見と情報力、データ分析・解析能力を有する団体	3,600千円を上限として委託 (1団体)